

# 蟹 座

花見 正樹 作 詩  
長谷川武 作 編曲

みじか く はげしい いちね  
 んで - した みなみのしまのは - まべ かけぬ  
 けたふた - り あせに ま - みれだきあ う - - と あしあ  
 とはなみに きえ ヤドカリ - と - ピンクの かいが  
 らしる - いす な - かにぎの ゆめみ る こい -  
 は はない そんな まよ - いをふり はらう - あい  
 を - しんじ - たい みじか て

1. 短くはげしい一年でした

南の島の浜辺 駆けぬけた二人  
 汗にまみれ抱き合うと 足跡は波に消え  
 ヤドカリとピンクの貝殻 白い砂  
 かに座の夢見る 恋は儂い  
 そんな迷いをふり払う 愛を信じたい

2. 短くはげしい一年でした

落ち葉散るパリの街 旅した二人  
 シャンゼリゼの賑わいに 夢を語り歩いて  
 お互いにそれぞれ 目的が別だからと  
 かに座のプライド 意地がぶつかる  
 それでも別れは辛いもの 愛し愛されて

3. 短くはげしい一年でした

木枯らし吹く銀座で 別れた二人  
 西五番に若葉萌える 春がおとずれて  
 コートを脱いだ若者たちの 姿がまぶしい  
 かに座の優しさ 愛は再び  
 めぐり合うという言葉を 信じて待ちます